

私が歩いてきた道-II

日本三景と歴史入門へ独り旅

Way-II which I Walked

*Introduction to Nostalgic foods and History of Solitary Journey
Three most Scenic spots in Japan.*

岩崎行伸

時の経つのは早いもので、あれから32年余の記憶に遡る。

T 大学の研究調査旅費を4泊5日分先受領し、国鉄・清水/静岡駅から東海道本線の急行列車で3時間、東京/上野駅に到着。東北本線の最終便・上野発23時発の夜行寝台列車に5時間乗ると、翌早朝には仙台駅に到着。駅構内で朝食後、国鉄・仙石線の電車に乗り東塩釜駅に行く。ここは塩釜港/魚市場があつて、当時は水産庁主催の東北海区水産研究所において年度始めの“カツオ漁況検討会議(1985)”が開催され、個人的に参加してカツオ漁況予報に関する研究成果を発表した。この時の宿泊地が松島の五大堂目前であり、松島(日本三景)の島々めぐりに観光乗船し、夕食には松島産カキ天婦羅の味が今でも舌に残っている。

会議終了後は、仙台駅から北に向かう。盛岡市内ではわんこそばの喰いふうだいで15杯が限界であつた。そばの味よりも数に対する挑戦の記憶が残っている。その足で、一ノ関へ行き、中尊寺金色堂(世界文化遺産)と杉並木にはその歴史的威厳に感激した。さらに、十和田湖を経て青森駅前では酒の肴にイカ刺しで一杯やった、美味しさを思い出す。

翌年の独り旅は、東海道本線・北陸本線・山陰本線を通して日本海方面に向かう。清水/静岡--米原--敦賀-福知山--米子-松江(境港)--島根の名所である天の橋立(日本三景、1986)の、逆さ景観が思い浮ぶ。

日本三景と歴史入門へ独り旅

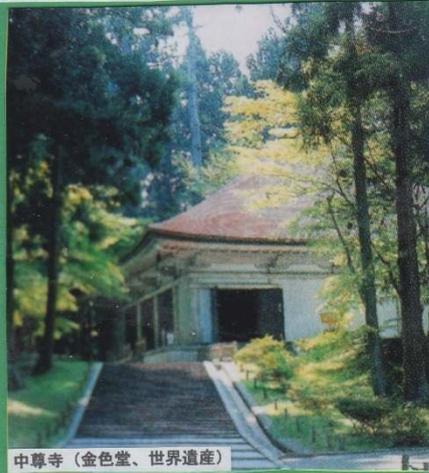
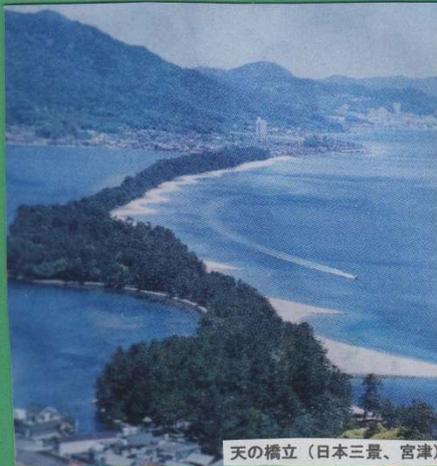


Photo by Y. IWASAKI

図1. 日本三景と歴史入門へ独り旅 (上段右: 中尊寺/金色堂、左: 天の橋立/宮津、中段左: 四万十川/高知、右: 松島/宮城、下段: 厳島神社/宮島)

ここでの食記憶は境港における日本海産のクロマグロの刺身の美味しさと松江/宍道湖産の ヤマトシジミ味噌汁定食と出雲そばが美味しかった。さらには、出雲大社の藤原文化の建物の遺構と古事記誕生の神話より日本歴史入門を覚えたことである。

1987年には、広島原爆ドーム（世界遺産）の見学後、瀬戸内海に浮かぶ宮島（日本三景）の厳島神社（世界遺産）近辺の民宿に泊り、野生小鹿ともみじ饅頭、それに、粋な音としてBGMに映画音楽とクラシックが流れ、もみじ饅頭と独りで晩酌を愉しんだことである。

1988年には、四国の高知大学で日本水産学会秋季大会に参加した折、研究発表後、黒潮電鉄に乗って、日本最後の清流として名高い四万十川大橋の近くに宿泊。夕食には晩酌の肴に本メジマグロとカツオたたき土佐造りの刺身、それと天然ウナギのかば焼きがとても美味しく何時までも舌に残っている。

添付資料

- 1) 中尊寺（世界遺産）・天の橋立（日本三景）・松島（日本三景）・四万十川（日本最後の清流）・厳島神社（日本三景/世界遺産）